



やっさ



■発行/社) 三原青年会議所 ■編集/広報委員会/三原市皆実町1331-1(三原商工会議所内) TEL.(08486) 6155(代)

やすらぎとふれあいを求めて

第3回 三原やっさ祭り 8月11日(金)12日(土)13日(日)

市民総参加の祭りに

委員長 徳永修三

三原やっさ踊りは、四百有余年の伝統ともいえる、三原の地域文化として継承されてきました。それは、老若男女、やっさのハヤシに合わせ、誰もが自由に参加し踊る人も見られるように加え踊りであり、今日まで大衆のなかで歴史をつくりつづけてきたことは、暮らしている人々の生活の中での安らぎとふれあいの

三原やっさ踊りは、四百有余年の伝統ともいえる、三原の地域文化として継承されてきました。それは、老若男女、やっさのハヤシに合わせ、誰もが自由に参加し踊る人も見られるように加え踊りであり、今日まで大衆のなかで歴史をつくりつづけてきたことは、暮らしている人々の生活の中での安らぎとふれあいの

第3回三原やっさ祭り行事予定

日	時間	場所	内容
8月11日	12時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	13時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	14時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	15時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	16時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	17時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	18時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	19時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	20時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	21時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	22時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	23時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	24時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	25時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	26時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	27時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	28時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	29時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会
8月11日	30時	三原市皆実町1331-1	三原やっさ踊り振興協議会総会

第3回三原やっさ祭り振興協議会総会が、五月二十五日、三原商工会議所にて行なわれ今年度のやっさ祭りの計画が決まりました。

一九七八年「ミスやっさコンテスト」審査期日 昭和53年7月22日(土) 13時30分

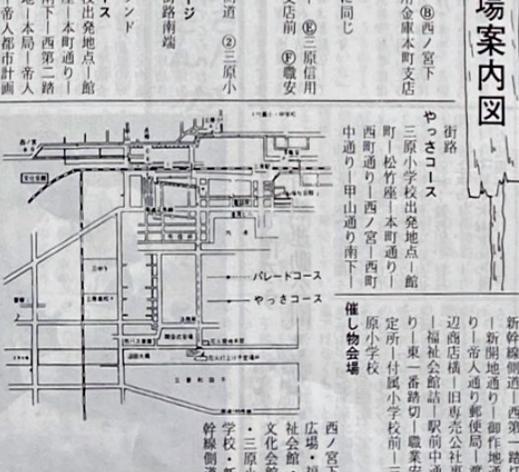
55年時は18歳から28歳までの未婚の女性で、あまたの応募の中から、ミスやっさ 1名、チャージング賞 2名、入賞者には表彰並びに副賞を授与する。

記念はがき 賛助協力をお願い



製作者 内田 皓 夫氏
1セット200円
御希望の方は三原商工会議所やっさ祭り事務局で受付けています。なお、各町内会にもお願いしてあります。

会場案内



やっさ踊り実施要領

期日 やっさ踊り 8月12日(土) 19:00~22:00
8月13日(日) 19:00~22:00
子供やっさ踊り 8月13日(日) 17:00~20:00

申込方法 所定用紙に必要事項記入のうえ、7月10日(月)までに申込み下さい。

申込先 三原市皆実町 三原商工会議所
三原市港町 三原市役所 経済部観光課
子供やっさ踊り 7月28日午前10時~正午
やっさ踊り 7月28日午後13時~16時
三原商工会議所3階ホール

※代表者は必ず出席して下さい。
連絡その他不明の点は下記に連絡願います。
三原市皆実町 三原商工会議所内
三原やっさ祭り実行委員会
TEL 08486-2-6155

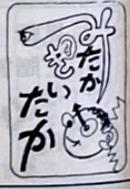
あなたのグループもパレードに!!
11日(17:30~19:30)のパレードに参加のグループを受付けております。どのようなグループでも自由ですので、ふるって参加下さい。
締切 7月10日
受付 三原商工会議所やっさ祭り事務局

他人のための献血が、自分の健康管理にもなるわけですから、誕生日とか結婚記念日などの記念日に毎年あなたも献血してはいかが?

今年も七月「愛の血液助け合い運動」月間として、献血思想の普及運動が全国各地で実施されます。全国五百万人の献血者、それでは今年二十一年目という献血活動、県内保健所管轄で献血は五番目。

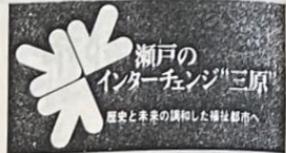
輸血用血液は、〇〇%が献血で賄われています。誰か他人が困っているとき、健康な人が自分の血液を無償で提供する、困っている人を助けているのです。これほど尊い人間の行為はありません。献血は普通一回二〇〇ミリリットルですから、献血直後も構って休む必要もありません。車の運転や仕事、入浴も飲酒等もふだん通り行なうことができます。また多くの項目にわたって検査が行なわれます。精密検査を必要とする人にのみ本人宛に秘密を守って通知されます。

私たちの体には個人差があります。体重の六割が八割の血液が流れているのです。たとえば六〇キロの男性でしたら四、八リットル(牛乳ビン二四本)の血液の量になります。その血液は心臓を出発して手や足、頭の部分までめぐり、再び心臓にもどってきます。その早さは一時間二十三日といふ速さです。想像もつかない速さです。しかも、全血量の三分の一を出血すると生命を維持することが出来なくなります。すぐ輸血が必要になります。





やっさ



■発行/(社)三原青年会議所 ■編集/広報委員会/三原市皆実町1331-1(三原商工会議所内) TEL.(08486)②6155(代)

第3回三原やっさ祭り 〇 ふれあう心……また来年も!!

8月11日12日13日

盛大に幕を閉じる



情熱と炎で燃える若者が青春のページをとほりひろげる三原ヤッサ祭り、三月初め頃から各委員会にわたっての活動、努力と時間と金、そして長い期間の打ち合せ、一過り出来た、でもよいよオーピング、若者は今日までの苦労を忘れたかのように目がしらを熱くしながら指揮をとる。町の「アチコチで「よーよー」の声をかけてくれる人、若者はどう受けとめるだろう。もうこんな苦しい長い祭りとの戦いはごめん、誰もが口を揃えて言う。しかしまた来年が来る、何食わぬ顔で祭りに参加している。それが青春であり、彼らの青春でもある。『青春とは、人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。すぐれた創造力、逞しき意志、燃ゆる情熱、怯懦さやうだを却けしりぞける勇猛心、安易をふりする冒険心、こういう様相を青春と云うのだ。年を重ねただけで人は老いない、理想を失うときにはじめて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが情熱を失うときに精神はしぼむ。苦悶や狐疑や、不安、恐怖、失望、こういうものこそあたかも長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも赤あかたに帰せしめてしまふ』と朝日新聞に記載してあった。まさに祭りとは、青春との追いかけてゆくことである。老いも若きも年輪を忘れ苦難を忘れ、また来年も情熱と炎で燃え続けることである。





—地方自治を見直し 自治意識の高揚を—

垂れ幕に思う

三原教育事務所の屋上から「たくましい広島っ子を育てよう」と書いた垂れ幕が下げられている。

わたしはこの前を通るたびに、もう十年あまり前の中外日報にのせられてあ



萬葉長井の浦歌碑建立除幕式

「井戸の水では駄目です川の水です」とい、「川の水などでもよいといふわけにはゆきません。流れが急で岩石が多く、激しい「ぶつかり」の多い水は、味がよいということになるわけです。それをさがすのが楽しみ。一つですがそれはそうでもしょう。魚だって日本海の荒波に鍛えられたものは、南方の魚と旨さがちがいますからね」

た「ある老僧の手記」を思い出す。

それは次のような「苦勞の値打ち」と題するものであった。

「森田さんのところへお参りした。主人が煎茶を振舞った。若い苦勞のない人

の趣味がわからなくて、ガブのみだれだけだ、森田さんの煎茶だけは香味特によく、喉に送るのが惜しい気がする。

これはなにか極端があるりませうとすねずにはいられなかった。

森田さんは、水の運びが大仕事」といって、水の味に別のあることを初めて知った。

「若い時の苦勞は買ってでもせよ」ということは、いつの時代にも必要なことで、その苦勞の頂上ともいふべきは、北風の修行と五却の思惟であろう。：略現代の世相は子離れしない親、乳離れしない子が多くなつてしまつて、本一つ買つて自分で買つて行くことせず、親も行くこと新しい職をもつた人が居る。なせ小さいときから「自分のことは自分で」と

郷土の文化

深町 地主神社太鼓踊り



地主神社

深町は、昔、奈良朝天平年間伊予の國大三角の住人理想の開拓を求め、各地を遍歴した者が、遂に我が村に足止めを、生涯子々孫々繁榮の地として社殿を建立して報恩謝地の誠をいたしたものである。

毎年旧曆七月十六日如何なる凶作の年も必ず太鼓踊り奉納するわらわらがあった。

又二の宮として崇拝したもので旧曆九月十八日祭典を執行していた、明治四十二年、千川神社に本社として転じられた。

に子名として残っている七垣内には、

岡垣内、中垣内、向垣内、山垣内、平垣内、原垣内、山垣内等である。

大鼓踊り

その由来は、つまびらかに残されていないが、昔足利尊氏に敗れ九州に下り、再軍備を整え東進のみき、当備後一帯で一度軍の休養をとり、土

写真上昔地主神社の場所に残されたほころ。

写真中現在深八幡宮の中に転記されている。

写真下深大鼓踊り



深八幡宮



深大鼓踊り

子供の頃から絵画などより工芸品が好きで、食器などを運び回りに使ったものを歩き回り気に入つた。

日本芸術学部に卒業した。日大芸術学部を卒業した。この頃は評論家の道を歩むつもりだったが、卒業論文に「茶と住」をえらび、それを柳宗悦先生が読んでくださった。その縁で柳先生のもとで仕事をすることになった。

また先生の縁が重なりて片沢鉦斤先生に導かれ美術に取り組みようになった。その後、祖母の郷里三原市に住み現在まで30年近く聖架の仕事を続けることになる。

聖架はもともと、帯や着物、のれんなど天用に使わ



型染製作者

内田 皓 夫氏

は型になるものと絵になるものにどこか違い、ヨロヨロの石造りの建築などは型に作りかたのいいではないかと思う。また、型をつくるのは、絵と違いやり直しがきかないし、色をつける

とでき完成したときの色形の違ひも出てくる。又、型の周辺部ににじみが出て軟らかな感じの作品をつくることができる。

内田氏の作品は非常にシブいものが多いが、手を入れた型でも受ける感じが非常に甲斐で、見る人に楽しさを与える作風をめざしておられる。「私の作品は50%で、使い方が50%です」といふのは、使われる人のくらしどうまく一緒に生活して始めて100%の作品となる」といわれるように、生活のなかで上手に使っていくのが工芸品のよさではなからうか。

三原市本町在住



1) 下絵を書き張紙を切りめつけ、

2) ラシャをラッカーではりつける。

3) ヘラでもってのりを入れていく。

4) 色(鉱物性・植物性染料)を入れる。

5) 水洗いをする(のりのついていない部分が残る)

6) 完成

みはらしんきん
三原信用金庫

11月3日公開

八甲山

原作・新田次郎 森谷司郎監督作品

聖職の碑

三原文映 港町 TEL 2 3342

三原市文化会館 御指定店
総合結婚式場寿殿

仕出し 専門店 **みはらしん**

三原市円一町 TEL 2-3865

